

# 研究員の眼

## 人気に陰りが見え始めた毎月分配型 ～2017年7月の投信動向～

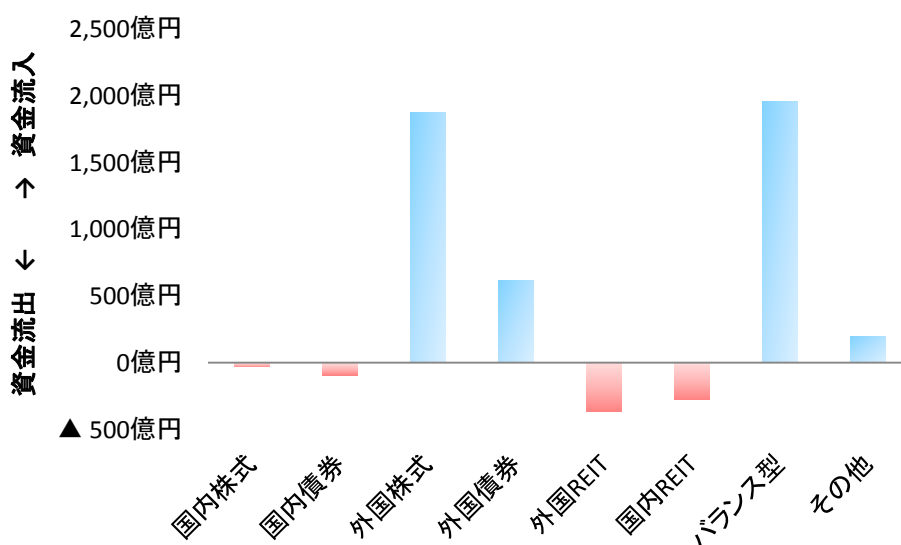
金融研究部 研究員 前山 裕亮  
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

### 国内株式から資金流出がやや収まる

2017年7月の国内公募追加型投信（ETFを除く）の推計資金流出入を見ると、国内株式から資金流出していたものの、流出金額は30億円程度と小額であった【図表1】。国内株式からの資金流出は昨年夏から続いているが、やや収まった様子である。7月は日経平均株価が2万円前後で推移し、底堅い反面、上値が重く小幅な値動きであった。様子見姿勢になる投資家が多かったのかもしれない。

内外REITについては、共に毎月分配型ファンドの解約が大きく、資金流出が続いていた。ただ、国内REITについては毎月分配型から330億円程度の資金流出であったが、毎月分配型以外には50億円弱の資金流入があった。金額は小さいものの、一部の投資家は国内REITがそろそろ底打ちすることを期待し、毎月分配型でない国内REITファンドを購入したようだ。

【図表1】2017年7月の国内公募追加型投信の推計資金流出入



(資料)Morningstar Direct を用いて筆者集計。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

その一方で、外国株式、バランス型、外国債券については資金流入が続いていた。外国株式とバランス型の流入金額は2,000億円に迫った。

## 毎月分配型の人気に陰りが

個別ファンドへの資金流入を見ると、流入上位のうち2ファンドが7月に新設されたファンドであった【図表2】。まず、1位の「SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド」はリスク・コントロール系のバランス型ファンドである。特に、基準価格の下値保証が組み込まれた新しいタイプのファンドである。最大損失が見えているため、投資初心者でも投資しやすいファンドといえる。ただし、下値を保証するために保証契約を結んでおり、保証契約のコスト負担がパフォーマンスにどれくらい悪影響を及ぼすかも分からないため、長期投資するには特に注意する必要があると考えている。もう1つの新設ファンドは、8位の「GS ビッグデータ・ストラテジー(日本株)」である。銘柄選別する際にAIを使ってビッグデータを活用している国内株式ファンドである。

外国株式の4ファンドも人気であった。2位の「野村インド株投資」と9位の「ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・インド・フォーカス)」がインド株式ファンドである。投信全体で見てもインド株式ファンドへの資金流入が800億円に迫っており、引き続きインド株式の人気が高かったといえる。また、4位の「グローバル・ロボティクス株式ファンド」がテクノロジー系の企業に投資するテーマ型のファンド、5位の「キャピタル・ニューワールド・ファンド」が新興国を中心に投資するファンドである。

また、7位の「ひふみプラス」は主に国内株式に投資しているファンドである。2月に運用を行っているレオス・キャピタルワークスの社長兼 CIO（最高投資責任者）がテレビ番組に出演して以来、毎月100億円以上の資金流入が続いている。テレビ出演からもうすぐ半年経つが、ブームは収まっていないようだ。

内外株式ファンドの人気が高かった一方で、毎月分配型のファンドの人気に陰りが見えてきている。資金流入が大きかった上位ファンドのうち、毎月分配型のファンドは外国 REIT と豪高配当株（REITも含む）の2ファンドのみであった。昨年からの内外 REIT などの一部の毎月分配型ファンドからの資金流出が続いていたが、毎月分配型ファンド自体の人気に陰りが見えてきたのかもしれない。

【図表2】2017年7月の推計純流入ランキング

順位	ファンド名	運用会社	7月の推計純流入	純資産 7月末時点	毎月分配型
1位	SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド	アムンディ・ジャパン	613 億円	613 億円	
2位	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	411 億円	4,197 億円	
3位	国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルビーコース(毎月)	三菱UFJ国際投信	311 億円	1,344 億円	●
4位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	303 億円	2,203 億円	
5位	キャピタル・ニューワールド・ファンドBコース(為替ヘッジなし)	キャピタル・インターナショナル	257 億円	680 億円	
6位	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース(為替ヘッジあり 年2回決算)	野村アセットマネジメント	247 億円	1,513 億円	
7位	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	246 億円	2,259 億円	
8位	GSビッグデータ・ストラテジー(日本株)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	231 億円	233 億円	
9位	ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・インド・フォーカス)	野村アセットマネジメント	206 億円	1,000 億円	
10位	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント	193 億円	6,119 億円	●

(資料) Morningstar Direct を用いて筆者作成。ETF、SMA 専用ファンドは除く

【図表3】2017年設定ファンドの純流入ランキング

ファンド名	運用会社	設定日	1~6月純流入	毎月分配型
1位 GSグローバル・ビッグデータ投資戦略 Bコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2月24日	1,765 億円	
2位 野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース	野村アセットマネジメント	2月23日	936 億円	
3位 野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース	野村アセットマネジメント	2月23日	842 億円	
4位 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -AI新時代-(為替ヘッジなし)	大和証券投資信託委託	4月21日	801 億円	
5位 キャピタル・ニューワールド・ファンドBコース(為替ヘッジなし)	キャピタル・インターナショナル	6月27日	417 億円	
6位 GSグローバル・ビッグデータ投資戦略 Aコース(為替ヘッジあり)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2月24日	383 億円	
7位 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -AI新時代-(為替ヘッジあり)	大和証券投資信託委託	4月21日	364 億円	
8位 ブラックロック・米国小型株 ビッグデータ戦略ファンド(為替ヘッジなし)	ブラックロック・ジャパン	5月22日	333 億円	
9位 新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型)	日興アセットマネジメント	2月3日	327 億円	●
10位 米国インフラビルダー株式ファンド(為替ヘッジなし)	大和証券投資信託委託	1月17日	323 億円	

(資料)Morningstar Direct を用いて筆者作成。2017年に設定されたファンド、ただしETF、SMA専用ファンドは除く

そもそも2017年に入ってから新しい毎月分配型ファンドはあまり提供されていない。2017年7月末までに設定されたファンド(SMA専用ファンドを除く)は230本あったが、そのうち毎月分配型のファンドは16本しかなかった。さらに新規設定ファンドの流入ランキングを見ても、人気になった新設ファンドの多くが外国株式のテーマ物であり、上位10ファンドのうち毎月分配型は1本のみであった【図表3】。2017年前半は様々なタイプの毎月分配型ファンドに資金流入していたが、新たなヒット・ファンドは生まれなかったといえる。金融庁が毎月分配型ファンドを問題視しており、金融機関が新たな毎月分配型ファンドの設定や積極的な毎月分配型ファンドの投資勧誘を自粛してきていることも影響していると思われる。

### ブラジル株式ファンドが好調

7月にパフォーマンスが良好であったファンドを見ると、ブラジル株式ファンドが好調であった【図表4】。ブラジル株式は2月に高値をつけてから、大統領の汚職問題など政治的な不透明感が嫌気され、下落傾向にあった。それが7月は原油価格の上昇や中央銀行の利下げなどを好感し反発したため、ブラジル株式ファンドが高パフォーマンスであった。また、対円でブラジル・レアルが1カ月で4%ほど上昇したことも追い風になった。

ただ、ブラジル株式ファンドの資金動向を見ると、7月は4億円の資金流入とほとんど資金流入していなかった。7月のパフォーマンスは好調であったが、投資家はブラジル株式について今後の動向を静観しているようだ。

【図表4】2017年7月の高パフォーマンス・ランキング

ファンド名	運用会社	7月の収益率	過去1年収益率	純資産6月末時点
1位 ダイワ・ブラジル株式オープン・リオの風-	大和証券投資信託委託	10.3%	22.9%	95 億円
2位 ブラジル株式ファンド	日興アセットマネジメント	9.9%	25.5%	27 億円
3位 資源ツインα ファンド(通貨選択型)ブラジルレアルコース	T&Dアセットマネジメント	9.7%	8.3%	46 億円
4位 WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)	アストマックス投信投資顧問	9.4%	2.3%	109 億円
5位 野村ブラジル・インフラ関連株投信	野村アセットマネジメント	9.2%	5.5%	41 億円
6位 UBSブラジル株式ファンド	UBSアセット・マネジメント	9.2%	22.7%	39 億円
7位 UBSブラジル・インデックス・ファンド	UBSアセット・マネジメント	9.1%	25.0%	13 億円
8位 ダイワ・ブラジル株式ファンド	大和証券投資信託委託	9.0%	23.4%	38 億円
9位 BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ インベストメント・パートナーズ	8.9%	27.3%	115 億円
10位 AAMブラジル株式ファンド	アパディーン投信投資顧問	8.9%	24.3%	12 億円

(資料)Morningstar Direct を用いて筆者作成。月末残高10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。